

~~~~~

## 第 1 市政一般に対する質問

○稲田議長 それでは、日程第 1、市政一般に対する質問を行います。

本日は、昨日に引き続き、会派自由創政による関連質問を行っていただきます。

初めに、岩崎議員。

[岩崎議員質問席へ]

○岩崎議員 改めまして、おはようございます。私は、会派自由創政、やる気、元気、岩崎でございます。本日も力いっぱい頑張っ  
てまいりたいと思います。

昨日の会派自由創政、戸田議員の代表質問に関連いたしまして、私は新商都米子のまちづくり 2023 の進捗、これについて関連いたしまして、歩いて楽しいまちづくりの推進、まちなか居住の整備と空き家対策について、さらに、コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりについて、これに関連いたしまして、米子市立地適正化計画の進捗について、以上、大要 3 点を質問させていただきたいと存じます。どうぞ明快なる答弁をよろしくお願い申し上げます。早速参ります。

まず、代表、戸田議員のほうからもございましたが、かわまちづくり計画について、このかわまち広場整備の進捗状況と課題について、改めて問うてみたいと思います。よろしく申し上げます。

○稲田議長 深田文化観光局長。

○深田文化観光局長 かわまち広場の進捗状況と課題についてでございますが、かわまち広場の整備につきましては、本市の施工

場所の用地買収を完了したところでございまして、工事につきましては、資材入荷の遅れによる国の工期変更に伴いまして、本市の工事も工期延伸となり、完成は令和7年度末になる見込みでございまして。

課題といたしましては、整備後の活用であると考えておりまして、地域住民や観光客の方々が中海の豊かな自然に親しむことのできる憩いの場所やたたずめる場所として利用いただけるようなPRなどを考えてまいりたいと存じます。

○稲田議長 岩崎議員。

○岩崎議員 このかわまち広場計画についてですが、歩いて楽しいまちづくり、そして、このウォークブル推進事業の米子港、城下町周辺エリア、これについてのかわまち広場整備になってございますが、ここで言われるのは、歴史、文化の町並みや貴重な親水空間を生かした、歩いて楽しいまちづくりの推進イメージを、これについて伺っておきたいと思っております。

また、今後この貴重な空間を生かして、誰がどのようなイメージで推進を図られるのか、問うてみたいと思っております。

○稲田議長 八幡総合政策部長。

○八幡総合政策部長 米子港周辺のまちづくりの推進につきましては、かわまちづくりで整備をいたします芝生広場、これを拠点として、日本遺産に認定されました地蔵信仰ですとか、加茂川遊覧船を生かした町家が多く残る下町、そしてお寺が並ぶ寺町や米子城跡、それらを回遊してもらい、歩いて楽しいまちづくりというものをイメージしているところでございます。なお、具体的な内容につきましては、今後検討していくということになると思

ます。

次に、どのようなイメージで誰が推進を図られるのかというお尋ねでございますけれども、今後の推進体制のイメージ、あくまでもイメージでございますが、市民の皆さんはもとより、民間事業者、地元の関係者、例えば、具体的に申し上げますと米子観光まちづくり公社など、多様な関係者の皆さんと連携を図ることが必要になってくるのかなと考えております。今後、具体的な内容を検討していく中で、推進体制につきましても併せて検討していきたいと考えております。

○稲田議長 岩崎議員。

○岩崎議員 私がこの質問を取り上げた経過でございますけれども、やはり、形としては米子港の跡地に国のほうが親水護岸整備を現在、行っていております。また、その後、県でも工事をやられる、国の工事が若干遅れてるから、市はちょっと遅れぎみだけれども、その後に広場整備に入っていくということですが、そしてまた、あちらの米子港の民間でやられる大きなウォーターフロントのプロジェクト、こちらも動かしつつあるということで、まだ計画は上がってないようですけれども、そこから辺を全体的にイメージしていくと、非常に歩いて楽しいまちづくりの一つの核になる施設だというふうに思っております。

特にあそこのは、やっぱり親水公園というか、水に親しんで、歩きながら、また水辺も散策できるような、そういうルート設定なんかも絶対に必要になってきますんで、前議会、12月議会もこのことにちょっと触れましたけれども、ぜひとも、今後も注視していきたいと思っておりますので、推進した後にきちんと米子市が民間、

市民と、あるいはその団体等とも一緒になって、本当に楽しいまちづくりを仕上げていってほしいなと思います。

また、イメージとして、これは要望ですけども、例えば加茂川遊覧を、中海で出ました、あるいはシーカヤックとかそういったもので中海を遊覧しながら、米子城跡の深浦地区とか、あるいはビッグシップのほう、ずっと入って行って、全体的に水辺を楽しんでいただけるような、そういう空間になっていくと非常に楽しいものができるんじゃないかなと思っておりますので、ぜひともよろしくお願ひしたいと思います。

これの項について、もう1点だけ、先ほどちょっと触れましたけども、ウォーターフロントプロジェクト、これについては、事業実施計画の質問は一応したんですけども、聞き取りの中で分かりましたのは、まだまだちょっと出来上がってないんだと、本来12月頃に一応、提出する予定だったけど、ちょっと遅れぎみになってるんじゃないかなと思いますけれども、このウォーターフロントプロジェクトについて、現時点で何か分かる範囲がありましたら、ちょっとお示しいただきたいと思います。

○稲田議長 八幡総合政策部長。

○八幡総合政策部長 米子港のウォーターフロントプロジェクトについてのお尋ねでございますが、先ほど議員さんも言われたとおりでございますが、現時点で具体的なことというのは、この場で御報告するような段階ではないというふうに考えております。

○稲田議長 岩崎議員。

○岩崎議員 では、続きまして、続いて、進んでまいります。歩いて楽しいまちづくりについてですが、ちょこちょこの議場で

も言葉としては出ますがほこみち制度、ほこみち制度の導入、これについての状況と、あるいは見えてきた課題等々についてもお示しをいただきたいと思います。

○稲田議長 伊達都市整備部長。

○伊達都市整備部長 ほこみち制度の実績と、それから見えてきた課題ということについてでございます。歩行者利用増進道路、通称ほこみちということですが、この導入実績につきましては、令和5年7月に市道米子駅目久美町線を指定しているところでございます。今後の指定につきましては、元町商店街の市道元町通り線などの路線を検討しているところでございます。

ほこみち制度の課題につきましては、沿道の事業者に制度を活用していただき、にぎわいの創出を図っていただくことと認識しておるところでございます。

○稲田議長 岩崎議員。

○岩崎議員 これにちょっと関連して、分かる範囲でいいですかからお答えください。沿道の事業者に制度を活用していただき、もちろん事業者がちゃんと張りついてきて、例えばキッチンカーとか、例えば商店の軒先を使ってというような形で、民間がしっかりとにぎわいを創出していく、これが一つの大きな目的ではあると思いますが、現時点でその進捗というか、その推進、どのように図られているのかお尋ねしたいと思います。

○稲田議長 八幡総合政策部長。

○八幡総合政策部長 先ほど都市整備部長が答弁させていただきましたように、ほこみち制度につきましてはこれからだというふうに考えておりますが、一つには、本市がこういう制度を設けて

そういう整備をするよということになれば、やはり民間の事業者の皆様方からはまちづくりに対する期待感というのがどんどんどんどん今、上がってきてるのかなというふうに考えております。それで、やはり、まちづくりにおいては、この期待感こそが非常に重要であるかなと思っておりまして、今後もそういう民間の皆さんがぜひとも出ていきたいなと思えるような後押しを私どもとしても考えていかなければならないかなというふうにしております。

○稲田議長 岩崎議員。

○岩崎議員 ぜひともよろしくお願ひしたいと思います。

次に参ります。ほこみち制度と若干関連してくるとは思いますが、街路空間再構築・利活用というものがございます。これは国交省のほうが行歩行者中心のまち、街路を目指した街路空間の再構築や官民連携による沿道や地域と一体となった街路空間の利活用を図る、これを目的とされて、一応、推進されているということでございます。この街路空間再構築・利活用、これの米子市、本市の導入についての状況と課題についてお尋ねします。

○稲田議長 八幡総合政策部長。

○八幡総合政策部長 街路空間のこの再構築につきましては、現在完成した路線というものはございませぬけれども、市道米子駅目久美町線ですとか、市道富士見町南東倉吉線などで車中心から歩行者中心への空間へ改変するため歩道部分を広げると、そういうこととしております。

この利活用につきましては、先ほどの市道米子駅目久美町線で広げた歩道部分の一部を活用できるように、先ほど答弁いたしま

したけども、令和5年の4月にほこみちを指定したところがございます。引き続き、その他の路線でもにぎわいの創出のためほこみち制度の導入と、それを地元関係者の皆さんと協議をしながら、これについても検討していきたいというふうに考えております。

○**稲田議長** 岩崎議員。

○**岩崎議員** 分かりました。このほこみち制度とか、こういった新しい制度がございます。ぜひとも、歩いて楽しいまちづくりを推進するに当たっては広く、いろいろその可能性のある道路もあると思います。今後そういったことも視野に入れながら、広く市民に情報提供お願いしたいなと思います。そして、最終的には、民間が張りついてきたり、いろいろにぎわい創出がかなえば、本当に楽しい空間になっていくのかなというふうに思いますので、これを要望しておきたいと思います。

続きまして、新商都米子のまちづくり2023に載せてありますよう、今後のまちづくりの施策で検討すべき課題について、現在までの検討状況と検討スケジュールについて伺います。

○**稲田議長** 八幡総合政策部長。

○**八幡総合政策部長** 新商都米子のまちづくり2023の検討すべき課題についてのお尋ねでございますが、新商都米子のまちづくり2023の今後検討すべき課題につきましては、当たり前の話でございますけども、まちづくりなどの状況を踏まえて、必要に応じて検討するものとして、現在、いろいろなものを上げているところでございます。

現在までの検討状況につきましては、土地利用の見直しの検討につきましては、令和2年に米子港周辺の用途地域を米子ベイ・

ウォーターフロント計画に合わせて変更したところがございますし、またまちなかの移住施策の検討につきましては、令和5年3月に立地適正化計画を作成し、今後のまちづくりを見ながら、この移住施策の研究を進めることとしております。また、自然災害に対する安全性の向上の検討につきましては、この立地適正化計画を作成するに当たり、流域治水プロジェクトと連携しながら取り組んでいるところがございます。その他の施策についても、今後、まちづくりの状況、そして国と県の動向、これも踏まえながら、必要に応じて検討することとしているところがございます。

○稲田議長 岩崎議員。

○岩崎議員 いずれにいたしましても、ほこみちもちょっと触れられましたが、これは本当にこれからの事業でございます。今ようやく芽吹いてきて、いろいろ事が動きつつあるということでございますので、しっかりとその課題に対応していきまして、本当に皆が分かりやすいように、市民の方が本当に歩いて楽しめるように、あるいは、コンパクト・プラス・ネットワークにもつながってまいりますので、どうぞよろしくお願ひしたいと思ひます。

続いての大項目、まちなか居住の整備と空き家対策について質問いたしたいと思ひます。

まず最初に、優良建築物等整備事業の導入についてでございます。これは、私から申し上げますと、市街地の環境の整備改善、良好な市街地住宅の供給、防災拠点の整備等を図るため、土地の利用の共同化、高度化等に寄与する優良な建築物等の整備に対して国と市がその事業費の一部を補助するもので、イメージとしては2人以上の地権者、要は地権者がいっぱいいるいろんな町なか



のそういう住宅等の2人以上の敷地を共同化して建築物、大きな建築物を整備していく事業、そういったイメージでございます。この優良建築物についての現在の取組状況、導入実績、今後の課題等について、御説明を願いたいと思います。

○稲田議長 伊達都市整備部長。

○伊達都市整備部長 優良建築物等整備事業の導入、取組、課題というお尋ねでございます。この事業につきましては、令和3年4月から事業を導入、募集を開始しておりますが、現時点での相談はないというところでございます。それが課題ということで捉えておりまして、米子市のホームページ等で周知を図っておりますが、引き続き周知に努めていきたいと存じます。

○稲田議長 岩崎議員。

○岩崎議員 国、あるいは県、市、そういった補助メニューもございますので、これはいい事業だと思います。今現在、例えば中心市街地のことを思ってください。いろいろやっぱりそういう住宅のほうをいろいろ改修等を考えておられることかもしれません。いろんな方もいらっしゃると思いますが、こういうふうに大きな、例えば集合化を図るとか、そういった案件というのは進めるべきなんじゃないかなと、少なくともそういうメニューは米子市は持っていますので、広く周知をしていただきたい。今のところ導入実績なり、この相談案件もないということなので、かれこれもう1年近くになります。ちょっとそれじゃあ、なかなか目的が達成できてません。そこら辺は多く反省をしていただいて、またしっかりと事業推進を図っていただく、また図るためにはどうしたらいいか、いろいろ検討していただきたいということを強く要望して

おきたいと思います。

では、次に参ります。大規模集客施設制限の緩和についてということでございます。これは、準工業地域である大規模集客施設制限地区において、中心市街地活性化基本計画の認定要件を満たすため、大規模集客施設の建築を規制していましたが、令和3年3月、この計画期間が終了となったことを契機に、中心市街地エリアをより広く捉え、町なかのさらなる活性化に向けたまちづくりを推進するために、中心市街地と近接している地区において当該規制を緩和するもの、大規模集客施設というのは劇場だとか映画館だとか観覧場、店舗、飲食店、展示場、遊技場、そういったこと、広く捉えることができますし、私の思いは、やはりこれはすごくいい事業だと思っております。歩いて楽しいまちづくりを推進するに当たっては必ずその場その場、その土地柄の中で拠点施設というのは一つ、絶対必要だと思います。拠点の施設に大型集客施設があれば、そこは必ずにぎわってくるという、そういう仕掛けもできるわけでございますので、大変期待しておりますが、これについての現時点で規制緩和をされたわけですが、その後の状況とか、その後の、どういう効果があったとか、そういったことについてお尋ねしたいと思います。

○**稲田議長** 八幡総合政策部長。

○**八幡総合政策部長** 大規模集客施設の制限の緩和についてでございますけれども、現在この当該緩和により許可をされた実績というものはございません。しかしながら、この当該緩和後に民間事業者の皆さんからは具体的な相談があったり、それはこれまで例外なく許可できなかった案件、これについて相談をしていただけ

るようになった、ある種の期待感を持っていただいているというのが現時点での効果だというふうに捉えております。

○稲田議長 岩崎議員。

○岩崎議員 現時点で効果を捉えていると、効果で捉えているということございます。相談案件はあったということもございますので、ぜひ、これも一つの切り札というか、米子市もいっぱいカード持ってるわけですけども、市長が推進されるこの歩いて楽しいまちづくりを何としても市民と共有して、いいまちづくりに仕上げていきたいなと考えておるところでございます。

そういたしますと、次に、もう1点、この項のもう1点でございますが、まちなか居住の整備と空き家について質問したいと思います。

空き家数、現時点の中心市街地の空き家数と空き家率の推移についてお尋ねしたいと思います。

○稲田議長 伊達都市整備部長。

○伊達都市整備部長 空き家数と空き家率の推移についてでございます。空き家数と空き家率につきましては、令和4年度から5年度にかけて実施いたしました空き家実態調査によりますと、市内中心部4地区におきましては、まず啓成地区、空き家数が458戸、空き家率が12.4%、明道地区、同259戸、率が9.1%、就将地区におきましては197戸、率が5.9%、義方地区におきまして431戸、率が8.2%でございます。推移については、把握していないところでございます。

○稲田議長 岩崎議員。

○岩崎議員 調査した結果、中心市街地、特に啓成校区458戸、

12.4%、ちょっとびっくりした数字なんですけど、本当に多いですね。先ほどちょっと触れましたように、例えば優良建築物等整備事業、そういったこともぜひとも米子市はこういうメニューもごございますよと、いろいろやっぱり地域と一緒に考えていくチャンスだと思います。チャンスと言ったら大変失礼な話かも知れませんが、現時点で空き家が多いというのは本当に、全市的にも本当に問題ではありますが、そういったことの解消のために、いろんなカードもごございますので、よろしく願いしたいなど、ぜひともその解消に向けて取り組んでいただきたいということ強く要望しておきたいと思います。

今までずっと述べてまいりましたのは新商都米子のまちづくり2023、これの特に町なかの施策についてる説明を求めてまいりましたし、質問してまいりました。郊外の施策については、また後ほどやっていきたいと思います、次の議会にでもやっていきたいと思いますが。この町なかの施策、いろいろ本当にわくわくするような事業がちゃんとあるわけでごございますので、何とか成就したいなと思っております。

ところで、部長、新商都米子のまちづくり2023ということですから、恐らく2024もあるんじゃないかなと思っておりますが、実はもっともっと期待をして、ちょっとこの質問突然ですが、してみたいと思います。

○**稲田議長** 八幡総合政策部長。

○**八幡総合政策部長** 新商都米子のまちづくり、よく使っていただきまして、感謝を申し上げたいと思いますが、これにつきましては毎年つくるというのが副市長からの至上命題でございませ

で、このたびの委員会で2024についてのお話をさせていただく予定にしておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○稲田議長 岩崎議員。

○岩崎議員 副市長、今、名前が出ましたね。2024が副市長、どうも毎年やらないけんと言われたみたいですので、私はすごいなと思ひました。逆に感謝したいなと思ひます。こういうのやっぱり成果を必ず出しながら、確認し合いながら、年々進化していくというのがもう常套手段、いい方向性だと思ひますので、せっかくですから、副市長、2024に向けて、ちょっとこういう課題を持ってるんだとか、そういう試案がございましたらお示ししたきたいと思ひます。

○稲田議長 伊澤副市長。

○伊澤副市長 今、部長が言いましたけど、当然、私がというよりは市長が指示をしておりますので、ここは訂正をさせていただきます。

できるだけまちづくりをしっかりと市長の下で進めるということ、それを議会の皆様は当然であります、市民の皆様とその方向性を共有しながらやりたいということでもあります。

課題をあえて申し上げますと、毎年毎年、したがってバージョンアップしていくんですけど、いろんな会議の場面等でも御指摘いただいておりますが、今どうしても事業マターの、ここの道路を直します、ここの道路に今度かかりますというようなことを中心に書かせていただいているんですけど、いわゆるビジョンといひましようか、それで将来どんな人の流れが生まれることを想定してるのか、その結果、まちがどう変わっていくのかということ

が、事業マターのものを並べるだけではなかなかちょっとイメージしづらいということ、今日の岩崎議員の御質問の中にもそういう趣旨の御質問があったような気がして今聞いておりましたけども、そういうようなものをできるだけ、これも見えやすくといいましょうか、分かりやすく表現するというのが言うほど簡単でないところもありますので、そういった課題があるということは頭に置きながら、事業の積み重ねの先に何があるのかなということできるだけ分かりやすいような形で表現することも今後の課題として工夫できないか、考えてみたいというふうには思っておりますが、恐らく今回お示しするものは、従来のもののバージョンアップというところになると思っております。以上です。

○稲田議長 岩崎議員。

○岩崎議員 ありがとうございます。当然の答弁を求めたわけでございますが、本当にいろいろ期待をしておきたいと思えます。これまでもこの新商都米子のまちづくり2023、随分といろいろ取り上げてきてまいりましたけれども、さらにバージョンアップして、市民の皆さんと共有できて、分かりやすいようにこのまちづくりを進めていくということは大変よろしいことだと思えますので、よろしくお願ひしたいと思えます。

それでは、大項目、一つ替わりますが、立地適正化計画の概要についてですが、立地適正化計画というのは、私のほうからも申し上げますが、平成26年8月、都市再生特別措置法の改正により制度化された計画。これは、コンパクト・プラス・ネットワークの都市構造を目指し、居住機能や福祉・医療・商業等の都市機能の立地、公共交通の充実等に関する包括的なマスタープランと

いうことをございます。立地適正化計画について、ただいまから質問してまいりたいと思いますが、その中で災害リスク、この言葉が出てまいりました。災害リスクの課題整理、これについての取組の状況を伺ってみたいと思います。

○稲田議長 伊木市長。

○伊木市長 立地適正化計画におけます災害リスクの課題の整理でございますが、議員御指摘のとおり、米子市におけるこの立地適正化計画につきましましては、この防災指針を含めたものとしたしまして、昨年3月に策定をしたところでございます。計画の策定に当たりまして、災害リスクにつきましましては、市街化区域の大半に洪水による浸水リスクが想定されていまして、特に災害リスクの高い地区につきましましては、洪水時の浸水深が3メートル以上のおそれのある市街地が存在するなど、課題を整理したところでございます。

取組につきましましては、防災まちづくりの将来像に向けましてハード対策、ソフト対策を含めた総合的な取組を進めているところでございます。

○稲田議長 岩崎議員。

○岩崎議員 ここで本当に、市民も今、能登半島等の大地震にも触れながら、いろいろ今後の災害リスクというのも、改めていろいろ今後も出てくると思います。例えばこの洪水とか浸水を想定した場合ということで、これまでもいろいろ課題を整理してこられたわけでございます。まちづくりの中でとっても重要なことですので、引き続き、例えば津波についてとか、新たな知見とか、そういったものも今後出てくるんじゃないかなと思いますの

で、いろいろ私どもも注視しながら、洪水被害とかそういった全般的にそういう震災に対しての備えを取り組んでまいりたいなというふうに思いました。

続きまして、居住誘導施策の進捗状況、それと課題について伺ってみたいと思います。

○稲田議長 八幡総合政策部長。

○八幡総合政策部長 居住誘導施策の進捗状況と課題についてのお尋ねでございますが、まず、居住誘導と申しますのは、この人口減少下にあっても、一定のエリアにおいてはこの人口密度を維持することによって生活サービスですとかコミュニティが持続的に確保されるよう居住を緩やかに誘導することでございます。本市の立地適正化計画におきましては、施策の進捗状況や効果を定量的に把握するために目標指標及び目標値を設定しておりまして、居住誘導に関する目標設定につきましては、20年後につきましても居住誘導区域の人口密度というのが現在と同程度になることとして、誘導施策に取り組んでいるところでございます。しかし、いまして、おおむね5年後目安としておりますが、この施策の進捗状況、指標の達成状況などを今後把握、検証いたしまして、この評価をしていただいた上で改めて計画に反映することとしていくところでございます。

○稲田議長 岩崎議員。

○岩崎議員 ここでちょっと一つ振り返りますと、この答弁でもありましたように空き家率の問題、中心市街地の空き家率の問題というのは、大きな問題であります。まさにこの居住誘導施策、これについて、その空き家率をどうしていくか、空き家をどうし



ていくかとか、そういった課題があるんじゃないかなと思います。おおむね5年を目安として施策の進捗状況や達成状況、これを把握、検証するというところでございましたので、これもこれからなんだろうけども、先ほども申し上げたとおり、本当にこれはもう、ちよつともう待ったなしの状況だなというふうにも思っておりますので、全庁を挙げてこの辺の推進を図っていかれたい、もっと強化されたいなというふうに思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

続きまして、同じく立地適正化の中で都市機能誘導施策の進捗状況、これについて、課題等も含めてお尋ねしたいと思います。

○**稲田議長** 八幡総合政策部長。

○**八幡総合政策部長** 都市機能誘導施策の進捗状況と課題についてでございますけども、まず、都市機能の誘導といいますのは、医療・福祉・商業等の各種サービスの効率的な提供を図るということを目的に、これらの都市機能をまちの中心拠点や生活の拠頭に誘導し集約するというところでございます。都市機能誘導に関しましても、居住誘導と同様に目標指標及び目標値を設定しております。目標の設定につきましては誘導施策の新築、改築軒数が20年後までで7件以上、そして、中心市街地における歩行者等の通行量を現況から横ばい程度として誘導施策に取り組んでいきたいというふうに考えているところでございます。

そして、具体的な施策といたしましては、この誘導区域内において、大学及び専門学校が開設または学部、学科が新設された際に、在籍する生徒数に応じて補助金を支給するというような、都市機能誘導区域の支援事業をこのたびの予算案として提案させて

いただいているというところでございます。

○稲田議長 岩崎議員。

○岩崎議員 この最後の説明でございましたが、大学及び専門学校が開設または学部、学科が新設された際に、在籍する生徒数に応じた補助金を支給する、そういったことも今議会予算案で提案するというところでございましたので、ある程度その方向性は出てるのかなと思いますが、現時点では何かそういったその動きはございますでしょうか。

○稲田議長 八幡総合政策部長。

○八幡総合政策部長 現時点での動きでございますが、先ほどの専門学校等の補助金を予算化するというのは、そういう動きがあるということでございますし、あと、都市機能誘導施設で、例えば今の米子アリーナもその動きでございますし、そういうような動きはこれからも出てくるものというふうに考えております。

○稲田議長 岩崎議員。

○岩崎議員 立地適正化計画の中で、柱の一つが住宅居住と、その後は都市機能の誘導施策、それと交通施策ということになるわけでございますが、続きましては、交通ネットワーク、これに関する施策の進捗状況と課題についてお尋ねしたいと思います。

○稲田議長 伊木市長。

○伊木市長 この立地適正化計画の中における交通ネットワークに関する、その進捗状況でございます。町なかの都市機能誘導区域におきましては、だんだんバスの新しいコースの運行開始をいたしました。また、郊外エリアを含めました居住誘導区域におきましては、バス路線の再編作業を進めているところでございまし

て、弓浜地区におきましてはコミュニティバスの実証実験を来年度、予定しているところでございます。

課題といたしましては、運転手不足ですとか、あるいは、いわゆる2024問題など、公共交通を取り巻く環境が厳しさを増している中で、より効率的で持続可能な交通体系をどのように構築していくか、これが課題となっております。

○稲田議長 岩崎議員。

○岩崎議員 そういたしますと、今、市長答弁でもありましたとおり、より効率的で持続可能な交通体系を構築していくということを課題と捉えているということでもございましたので、私も全くそのとおりだと思います。今議会でもいろいろ交通政策についても、いろいろこの本議場で議論があったわけでもございますが、ぜひともまた、新年度に入りまして、この問題についてもしっかりと取り組んでいていただきますように強く要望いたしまして、私からの質問は終わりたいと思います。ありがとうございました。